

◇教材一覧

A 女性の人権

題名	対象	内容
A-13 配偶者虐待 25分（2005年）	一般	虐待防止シリーズ。実例の2話オムニバスドラマ。自らがDV被害者でもある高橋実生先生がドラマに沿って、問題点と対処法を紹介します。
A-14 あなたの彼氏彼女は大丈夫？ ～恋人関係のDV被害～ 19分（2008年）	一般	婚姻関係のない若い恋人同士においても、暴力による対等でない関係があり、これを「デートDV」といいます。ドラマと実際のインタビューでデートDVの実態に迫ります。
A-15 あなたは悪くない 30分（2011年）	一般	性暴力サバイバーからのメッセージ。性暴力被害者が、自らの被害体験を語ります。「あなたは悪くない」と強いメッセージを送り、支援活動に取り組んでいる姿を紹介します。
A-16 デートDV ～相手を尊重する関係をつくる～ 30分（2006年）	高校生 一般	子どもたちや若者たちが普通だと思っていることが、実はデートDVにつながる危険性があります。自分自身の潜在的な意識や価値観に焦点をあて、相手を尊重する人間関係をつくれるようにします。
A-17 夫の虐待を許さない！ ～夫婦のモラルハラスメント～ 19分（2010年）	一般	見下した態度と言動で、妻の人権を傷つけながら、全く自覚のない夫。夫に従うのが自分の役割だと思い込み、暴力がないため、虐待だと気づけない妻だったが…。
A-18 どう守る 女性の人権 ～女性が活躍できる職場づくり～ 24分（2012年）	一般	未だに職場に根強く残る女性への権利侵害の現状を再現ドラマで描き、その原因と対処法を具体的に説明していきます。これからは男女の「協働」が、企業の持続的発展につながることを訴えています。
A-19 あした咲く 36分（2017年）	一般	独身会社員の妹・茜と専業主婦の姉・翠は、それぞれの立場ゆえの悩みや葛藤を抱えています。女性はもちろん全ての人が「自分の花」をイキイキと咲かせることのできる多様性尊重社会の実現をめざすきっかけとなる人権啓発ドラマです。

B 子どもの人権

題名	対象	内容
B-29 幼児・児童虐待 25分（2008年）	一般	実際にあった幼児・児童への虐待報告を再現ドラマの形式で紹介します。身近な事例をもとに、ドラマ解説と虐待抑止のための対応法をわかりやすく紹介します。また、親自身が気づきをもつためのアドバイスをしています。
B-30 ありったけの勇気 27分（2007年）	中学生 以上	このドラマでは、友人との関わりや相手の気持ちを考えることの大切さ、いじめをなくすためにお互いに認め合うことや、本音で話せる関係づくりなど、いじめに立ち向かう勇気の大切さを伝えます。
B-31 ケータイトラブル 25分（2009年）	中学生 以上	子どもがケータイトラブルを起して犯罪者・被害者にさせないように3つの事例で紹介し、親などに問題提起します。
B-32 見上げた青い空 34分（2007年）	中学生 以上	いじめの現実、いじめの本質を直視してあらためていじめについて考えるきっかけを企図しています。人ごとではなく自らの問題として「気づき」があることを訴えています。
B-33 ひとみ輝くとき 35分（2008年）	小学校 高学年 以上	深刻な社会問題に発展した学校裏サイト。被害者、加害者、観衆、傍観者、仲裁者などを浮彫りにし、学校と地域・家庭が一体になって考え、取り組んでいくことの大切さを知ることができます。
B-35 あした・きらりん 27分（2004年）	中学生 以上	HRの時間、自閉症傾向のある彩子へのからかいを注意したことで、友里は彩子とともに文化祭の実行委員をするハメになります。クラス内での対立や大型台風など次々と困難が降りかかっていますが、果たして文化祭は成功するのでしょうか。

題名	対象	内容
B-36 小学生のためのケータイ・ネット教室 30分（2012年）	小学校 中学年 以上	携帯電話を利用してネットのトラブルに巻き込まれる小学生の事例をドラマで描き、安全で正しいケータイ・ネットの使い方を解説。授業で使いやすいように、チャプターごとに課題を整理しています。
B-37 友だちの心が聴こえる？ ～本当の思いやり～ 24分（2013年）	小学校 中学年 以上	友だちの心の声を聞き、相手の考えや気持ちを尊重し、本当の思いやりとは何かを考えるために制作された作品。また、自分の気持ちを表現することで共感的人間関係を形成できることを描いた作品です。
B-38 みんないちばん！ アニメ 13分（2006年）	幼児 以上	友だちのいいところを認め、自分のいいところを見つけることのすばらしさを伝えます。そのことから、自分も大切、相手も大切という人権感覚を身につける作品です。
B-39 どんぐり森へ ～ひとりにひとつのたからもの～ アニメ 15分（1999年）	幼児 以上	ゲームなどで「生と死」に頻繁に接している幼い子どもたちは、「命は再生できるもの」と思い込み、命の尊さに対する感性が希薄化していると言えます。「命」は失うと二度とは戻ってこない大切なものであることを学んでいく作品です。
B-40 金太郎心のちからもち アニメ 15分（2003年）	幼児 以上	「いじめ」の中にうそやうわさや勘違いや作り話が絡んでいることがあります。「なにになにだそうだ…」「なにになにらしい…」こんな会話に注意し、相手ではなく、自分の心に立ち向かい、心を鍛えて欲しい、そんな願いのもとに作られた作品です。
B-41 ボクとガク ～あの夏のものごと～ アニメ 42分（2010年）	小学校 中学年 以上	子どもは「いや！」と拒否することや「自分でやる」と主張することができる存在です。この映画では、二人の子どもと近所に住むおばあさんとの交流、次世代に受け継ぐ「戦争と平和」について描いています。
B-42 いじめと戦おう！ 小学生篇 21分（2012年）	小学校 中学年 以上	人気サイトをドラマ化。いじめっ子は周囲の児童を楽しませようといじめている事も多く、そして周囲の児童は「自分たちは笑ってるだけ」だと思いがちです。このドラマには、そういったクラスの危険性や、いじめを防ぐためのヒントが盛り込まれています。
B-43 鉢かづき姫 アニメ 34分（1994年）	小学生	いじめと差別の中で、苦境にもめげず力強く生きた日本民話「鉢かづき姫」は、今の社会における親子の関係と人権問題を語り合える物語です。
B-44 ココロ屋 アニメ 25分（2014年）	小学生	うまくいかない自分の心をもて余している主人公ひろきの前に、謎の「ココロ屋」が現れて心を取り替えてくれるというのです。優しい心、素直な心、あたたかい心とは何でしょう？この謎に向かい合うためのヒントとなる作品です。
B-45 思いこみに気づく 14分（2009年）	小学校 高学年 以上	小学生のための人権パート1。実際の人権の課題を通して「思いこみ」について考えさせる内容です。テーマ：①「思いこみってなんだろう？」②「ちがいを受け入れる」
B-46 大切なわたし、大切なあなた 15分（2009年）	小学校 高学年 以上	小学生のための人権パート2。事例やインタビューを通して子どもたちに考えさせる内容です。テーマ：①「きずつくこと、きずつけること」②「大切な自分、大切なみんな」
B-47 おれたち、ともだち アニメ 52分（2006年）	小学生	「おれたち、ともだち！」絵本シリーズの映像版。1時間100円で「ともだちや」をはじめたキツネ。でも、ともだちってお金で買うものなの？
B-48 防ごう子どもの虐待 25分（2015年）	一般	子どもの虐待というと、子どもを殺しかねないような激しい暴力を思い浮かべがちですが、必ずしもそういう行為ばかりをさすわけではありません。解説を通して、日常の子育ての中で起こしがちな問題点を示し、虐待を防ぐために私たちができることを描いています。
B-49 「人権」ってなんだろう 14分（2004年）	小学校 高学年	いじめ、差別、人権侵害を子どもたちが、自分たちの問題だととらえ、その解決に向け、知恵を出し合い、行動に移すことを目標としたDVD。ドキュメンタリーでは、自分が体験したいじめや人を見かけて判断したことについて、子どもたちが語り合います。

題名	対象	内容
B-50 プレゼント 17分(2010年)	アニメ 小学生	私は「いじめている」なんて気持ちはなかった。ああいう風になるまでは…子どもたちに、身近な問題であるいじめについて考え、自分の人権の大切さに気づき、他の人の人権も大切であることに気づいてもらう作品です。
B-51 ネットいじめから子供を守る 27分(2010年)	一般	次々に映し出される学校裏サイトや誹謗中傷の言葉が書かれた携帯メールの画面。ドラマ形式で再現した、ある中学生のケースを基に検証していきます。
B-52 みんなの情報モラルⅠ 43分(2015年)	アニメ 小学校 中学年 以上	「ドラマ」と「まとめ」で構成されています。スマホを利用する際のルールを再確認し、周囲の人を思いやることの大切さに気付くための全6編からなる作品です。
B-53 うしろのせきのオチアイくん 46分(2006年)	アニメ 小学生	「うしろのせきは、コワイ！」は学芸会に向けてうしろのせきのオチアイくんとミホちゃんが楽器の放課後特訓をすることに… 「ドッジボール対決」はミホちゃんにボールをぶつけた松本くんとオチアイくんがドッジボールで対決することに…
B-54 つりばしわたれ 13分(2001年)	アニメ 小学生	「くやしかったら、つり橋渡ってかけてこい」山の子どもたちがはやしました。都会っ子のトッコは、揺れるつり橋が怖くて渡れません。トッコは、いつも一人ぼっちで遊んでいましたが…
B-55 おしおし村の仲間たち 13分(2017年)	アニメ 小学校 低学年	外見や能力が異なるおしおし村の昆虫キャラクター達。大切なのはお互いの違いを認め、相手の気持ちを思いやること、仲間と助け合っていくことだということを学べる作品です。
B-56 子供防犯スクール 25分(2017年)	一般	この作品は、架空の学校「子ども防犯スクール」を舞台に、専門家が近年発生したSNSやネット上での犯罪被害の原因と対策についてわかりやすく解説しています。
B-57 小学生のスマホの安全な使い方教室① 21分(2018年)	小学校 高学年 以上	小学生が、正しい判断力と態度を身につけるためのスマホの使い方を紹介します。①スマホのマナー②ネット上で知り合った人と会う危険③友だちとのメッセージのやりとりでのトラブルについて
B-58 小学生のスマホの安全な使い方教室② 21分(2018年)	小学校 高学年 以上	スマホを使うことで、金銭トラブルや犯罪に巻き込まれたり依存症になる小学生が増えています。①スマホゲームにお金を使うことでのトラブル②高額請求などのネット詐欺③スマホ依存症、これらのトラブルへの対処法について紹介しています。
B-59 忍たま乱太郎 がんばるしかないさ 30分(1999年)	小学校 低学年	「よいと思うことをおこなう」「あたたかい心でしんせつにする」「きまりを守って協力しあう」の3つのテーマを、忍たま三人組が学び、自ら行動できるようになっていくところを描いた作品です。
B-60 君が、いるから 33分(2018年)	兵 一般	母親に心理的虐待を受けている予備校生の奏が、自分の意志での行動を通して、自己肯定感や自尊感情を芽生えさせていきます。目に見えない虐待と、それに向き合う娘の物語。
B-61 やさしいオオカミ 15分(2004年)	アニメ 一般	気弱でケンカひとつできないオオカミは、キバのないオオカミ「キバナシ」と呼ばれ、バカにされていました。しかし、臆病に見えたキバナシは、誰よりも優しい心をもっていたのです。力強さだけではない、本当の強さとは何かを考える作品です。
B-62 おじゃる丸 ～ちっちゃいものの大きなちから～ 11分(2018年)	アニメ 幼児 以上	「ちっちゃいものクラブ」のメンバーが、町の人々に親切にするエピソードを通じて、人に親切にすること、感謝すること、気持ちのいい挨拶をすること、普段は仲のよくない相手でも困ったときは助け合うことなど、人との関わりについて学べる作品です。
B-63 スマホは情報モラルが大切① ～ネットいじめをしない！ SNSでの出会いに気をつけよう！～ 25分(2021年)	中学生 以上	メッセージ共有SNSのグループ内での悪口から始まるネットいじめの例や、ゲーム内で知り合った人と画像のやりとりをしたり実際に会うことで起きるトラブルの例など、子どもの情報モラルを育成するための作品です。
B-64 スマイリーキクチと考える インターネットの正しい使い方 16分(2021年)	小学生 以上	小学生でもインターネットを使うのが日常的になった今、小学生のうちからインターネットの特徴や誹謗中傷の実態を学ぶことは重要なことです。ネット上の誹謗中傷の被害者にも加害者にもならないために、小学生が自分で考えるきっかけになる作品です。

題名	対象	内容
B-65 みんなの情報モラルⅢ 21分(2017年)	小学生 高学年以上 文 アニメ	小学生もスマホ等を利用し、SNSで他人と繋がることができますが、そこに潜むリスクについては、まだまだ知られていません。この作品では、SNSを介して起こる身近なトラブル事例から危険性や問題性について気づき、上手に付き合う方法について学ぶことができます。
B-66 ええことするのは、ええもんや! 14分(2023年)	小学生 アニメ	車椅子に乗って動けなくなっているおっちゃんを押す途中、主人公の行動や心の葛藤を通して、「ええこと」をするのは何のためなのか、ボランティアの本質について考えることができる作品です。

C. 高齢者の人権

題名	対象	内容
C-8 老いを生きる 38分(2007年)	一般 文	今日も何処かで高齢者のサインが！誰もが通らなければならない老いの問題を自分のこととして捉え、日常生活の中で高齢者に対するやさしさや思いやりの心が、態度や行動に表れるような人権感覚を身につける作品です。
C-10 夢のつづき 40分(2007年)	高校生以上 アニメ	家族の中で疎外感を抱く高齢者、認知症を患う高齢者、その介護に疲れ果てた高齢者、無気力な毎日を送る若者らが、世代の異なるものとのふれあいなどで、家族のきずなを深め、生きがいを感じられる生活を送ることができるようになっていく様子を描いています。
C-11 高齢者虐待 26分(2008年)	一般	虐待防止シリーズ。 ①介護サービスを受け入れない②虐待の自覚がない③要介護状態を受け入れられない、という実例3話のオムニバスドラマ。ドラマに沿って、介護の問題点と虐待防止の対応法をわかりやすく紹介します。
C-12 おひとりさまを生きる -あなたは老後をどのようにくらしませんか?- 37分(2009年)	一般	老後の自分の生き方をどう選ぶのか、体験者自らの語りを通じて考えさせるドキュメンタリーです。
C-13 ここから歩き始める 34分(2016年)	一般 兵	認知症の親を持つ主人公とその家族の中で繰り広げられる介護をめぐる葛藤ときずなの紡ぎなおしを描くことで、高齢者が人間として誇りをもって生きていく上で大切なことについて、家族や地域の視点を通して考えるきっかけとなるドラマ教材です。
C-14 防ごう高齢者虐待 -日常の介護から考える- 28分(2015年)	一般	働きながら認知症の親を介護している2つの事例を、老老介護の話も含めドラマで描いています。視聴者が虐待発生を未然に防ぐにはどうすればいいかを考え、理解できることを目的に制作されています。
C-15 認知症と向き合う 30分(2016年)	一般 文	この作品は、認知症によくみられる症状、認知症の人の思いと家族の気持ちの変化、介護者の交流の大切さなどを描いています。認知症の人の視点に立って認知症への理解を深めることができます。
C-16 はじめて認知症の人に接するあなたへ 19分(2018年)	高校生以上	「症状についての正しい理解」と「認知症の人への接し方の基本」の2点に内容をしぼり、認知症の基礎知識を学びます。専門用語を使わずに、正しい知識を身につけられる、入門編に最適な内容の教材です。
C-17 認知症って、なんですか? 14分(2018年)	小学校高学年以上	小学校高学年から中学生を対象とした、認知症を学ぶためのDVD。認知症とは何か、認知症の人とどう接すればよいのかを、再現ドラマなどを通して分かりやすく解説します。
C-18 「やさしく」の意味 33分(2018年)	小学生以上 一般 文	「小中学生の認知症サポーター作文コンテスト」で最優秀作品に選ばれた、『「やさしくする」ということ』を脚色した映画です。認知症患者をはじめ一人一人が安心して暮らしていくためにできる工夫とは何かを示唆していく作品です。
C-19 くうとしの ~あなたがそばにいてだけで~ 12分(2020年)	小学生以上 一般	晴(はる)という飼い主のもとで暮らす猫のくうと犬のしのの物語をもとにした物語。仲良く暮らすうちに老いていき、認知症になったしのを、くうが献身的に介護し、最期のときまで支えます。物語を通して、認知症と介護、生命の尊重、思いやりの心を学べます。

D. 障がいのある人の人権

題名	対象	内容
D-27 今日もよか天気たい 35分(2007年) [文]	一般	ある日、京子とたまたま同じバスに乗り合わせた乗客は、京子の存在やとる行動によって、自分の心の中にある偏見や差別に気づいていきます。そして多くの人から支えられてきた京子自身も、人の役に立つことで生き甲斐を見つけます。
D-28 桃色のクレヨン 28分(2006年) [文] アニメ	小学校 高学年 以上	この作品は、知的障がいのいとこのふれあいを通じて大切なことに気付いていく主人公の姿をテーマにしています。子どもと大人と一緒に見て楽しめる心温まる作品です。
D-29 障害のある人とのふれあいと人権 23分(2008年)	一般	この作品は障がい者自身の言葉で、どう関わってほしいかを伝えています。安心して暮らせる社会を築いていくためには、健常者と障がい者が助け合うことが重要です。街で障がい者に会ったとき、どのように行動したら良いのか、考えていきます。
D-30 発達障害へのアプローチ 第1巻・解説編 45分(2011年)	一般	自閉症スペクトラム、ADHD、学習障がい：LD、発達性協調運動障がい。発達障がいを疑う子や発達障がいのある子に対して、どのように対応したらよいのでしょうか？発達障がいの全体像の理解を促し、障がいの特徴と関わり方を解説します。
D-31 生命(いのち)のことづけ 37分(2013年)	一般	東日本大震災で、障がいがあるために逃げ遅れたり取り残された人々が多数いた中で、震災後の調査では、障がい者の死亡率は健常者の2倍だったということがわかった。一命を取り留めた障がいのある人々や家族が自らの体験を語るドキュメンタリーです。
D-32 聲(こえ)の形 30分(2015年)	一般	原作の「聲の形(こえのかたち)」は週刊少年マガジンにて連載。現代の子どものリアルな表情を描きつつ「いじめ」や「障がい者との共生」などのテーマを読者が自然に考えることのできる優れた物語です。
D-33 風の匂い 34分(2016年) [兵]	一般	健常者と障がい者の二人の主人公は、子どもの頃は共に遊び、共に学ぶ大切な友だちでした。二人の成長と職場での人間模様を通して、「合理的配慮」について触れています。
D-34 障害のある子 障害のない子 18分(2016年) [文]	小学校 高学年 以上	小学校高学年向けにやさしく解説し、「合理的配慮」の仕方を具体的に示しています。障がいの有無に関わらず、誰もが同じように遊び、学び、生き生きと暮らす権利があることを理解し、共に認め合い、助け合っていくことの大切さについて考える作品です。
D-35 障害のある人と人権 33分(2019年)	一般	障がいのある人もない人も誰もが住みよい社会をつくるためにはどうしたらよいか。障がいのある人が直面する人権問題や心のバリアフリーの実現に向けた取組などを紹介しています。
D-36 知りたいあなたのこと ～外見からはわからない障害・ 病気を抱える人～ 21分(2019年)	一般	外見からはわからない障がいや病気を抱えながら日常生活を送っている人が多くいます。この作品では外見からはわからない障がいや病気を抱える人の話を通じて、私たちにできる配慮について考える内容です。
D-37 知りたいあなたのこと3 ～きこえない人の生活・気持ち～ 21分(2022年)	一般	耳の聞こえない・聞こえにくい方々は、人知れず不安や困りごとを抱えながら生活を送っています。この作品では、聴覚に障がいがある方々の話を通じて、私たちにできる配慮について考えていける内容です。
D-38 あなたの笑顔がくれたもの 37分(2022年)	一般	「人権」は何気ない日常にあり、家族や友人、同僚などの近く親しい関係性においては、相手を一人の人間として尊重する意識がおろそかになります。一人一人が考えや感じ方も違う人間であるということを理解して向き合うことの大切さをこのドラマを通して学んでいくことができます。

E. 同和問題

題名	対象	内容
E-42 人権のまちづくり ＜第1巻＞	一般	差別意識の解消に向けて〈第1巻〉住宅を選ぶ際に、同和地区やそこを含む校区にある物件を避ける人が、今も多くなります。大阪府内の2つの人権のまちづくりの現場を訪ね、まちづくりをとおして差別や偏見の解消に取り組む人々の思いを伝えます。
29分（2007年）		
E-43 宅地建物取引における土地差別 ＜第2巻＞	一般	差別意識の解消に向けて〈第2巻〉大阪府内で実際にあった宅地建物取引での差別事象をドラマで再現。実際の取引においてどのように対処すべきか、人の生活基盤を提供する重要な職務に携わるみなさんの人権意識の高揚がいかに大切かを考えます。
22分（2007年）		
E-44 土地差別問題を考える ＜第3巻＞	一般	差別意識の解消に向けて〈第3巻〉住民や業者から「同和地区かどうか」「校区に同和地区が含まれるかどうか」「同和地区の隣接地かどうか」の問い合わせを受けた時の対応方法を紹介し、土地差別にかかわる人権問題に直面した時どのように対応すべきかを自分自身の問題として考えます。
24分（2007年）		
E-45 部落の歴史 （中世～江戸時代）	一般	（中世～江戸時代）被差別部落出身の人々への差別意識はいついどこからきたのでしょうか。中世から江戸時代の部落の歴史とその歴史的背景を学ぶための教材です。
27分（2007年）		
E-46 部落の歴史 （明治～現代）	一般	（明治～現代）1871年に明治政府が「賤民廃止令」いわゆる「解放令」を出し、制度上の被差別身分が廃止された以降、現代まで続いている被差別部落出身者への差別について学ぶための教材です。
27分（2007年）		
E-47 ヒューマン博士と考えよう	高校生以上	歴史をたどりながら、差別された人びとの生産と労働、芸能や文化への関わりを、「ヒューマン博士」が分かりやすく解説しています。歴史の中でつくられた偏見や差別の解消をねらいとした作品です。
28分（2005年）		
E-48 同和問題と人権 [文] アニメ	一般	同和問題とは一体どのような問題なのか、どうしてこのような問題が存在し、何故なくならないのか。同和問題を正しく理解し、解決するためにはどうすればよいのかを考える作品です。
28分（2008年）		
E-49 私の中の差別意識	一般	この作品では、差別された人々の心の痛みを伝えています。差別をなくすために、自らの差別意識に気づき、正しい知識や判断力をもつことの大切さを伝えます。
24分（2010年）		
E-50 差別っていったい何やねん	一般	川口泰司さんが自身の体験を通して人生の中で掴み取った差別の本質を本音で語りかけています。部落の心をハートフルにエネルギーに語りかけています。
30分（2004年）		
E-51 おじいちゃんは丹波杜氏 アニメ	小学校高学年以上	かつて、酒造りの現場には同和地区の人は就職できない時期がありました。杜氏に門戸が開かれ、全国に名高い銘酒を生み出したある男性ば実話にもとづき、いわれなき差別を考えさせる作品です。
17分（2009年）		
E-52 東山文化を支えた「差別された人々」 ＜第1巻＞	一般	世界遺産である銀閣寺や龍安寺の庭園などをつくった「河原者」はなぜ差別されたのでしょうか。世界に誇る文化遺産は、差別された人々と差別することなく正しく評価した人たちによって築かれたことを、共に学び合う教材です。
16分（2014年）		
E-53 江戸時代の身分制度と差別された人々 ＜第2巻＞	一般	中世に始まったすべての身分が、居住地や税制、戸籍などで身分を固定され、江戸時代に「制度化」されたことを、分かりやすく解説。すでに間違いと分かり教科書から消えた「士農工商」の図式に代え、積極的に新しい図式を提示しています。
17分（2014年）		
E-54 水平社博物館総合案内	一般	水平社発祥の地、奈良県御所市柏原にある水平社博物館。水平社創立者たちをはじめとして多くの名もなき諸先輩が差別に抵抗して生きてきた事実を掘り起こし、その足跡を保存していくために建設された博物館の総合案内です。
6分（2001年）		

題名	対象	内容
E-55 同和問題 80分（2014年） <div style="text-align: right;">法</div>	一般	日本固有の人権問題である同和問題に焦点を当て、分かりやすく簡潔にまとめた「同和問題～過去からの証言、未来への提言～」(61分)と「同和問題 未来に向けて」(19分)の2つの映像作品です。
E-56 近代医学の基礎を築いた人々 ＜第3巻＞ 17分（2015年）	一般	江戸中期、漢方医の山脇東洋が、日本初の医学解剖を実施・観察しました。17年後に解剖を実見した杉田玄白は「ターナル・アナトミア」という洋書の正確さに感動し「解体新書」と名付け世に出しました。しかし、山脇、杉田に実際に臓器を解剖して見せたのは、差別されてきた人々でした。
E-57 明治維新と賤民廃止令 ＜第4巻＞ 18分（2015年）	一般	部落問題には「迷信」がいくつもあります。1871年（明治4年）に明治政府の出した布告もその一つです。これは「解放令」と呼ばれてきましたが、原文には「布告」とあるだけで「解放」の文字はどこにもありません。近代社会においても「部落差別」が存続した構造を浮かび上がらせています。
E-58 そんなの気にしない 17分（2016年）	一般	主人公が親友に自分が同和地区出身だということを告白した時に返ってきた言葉は「そんなの気にしない」。私たちが普段なにげなく使う言葉や態度のなかには、相手を傷つけるものがあるかもしれません。そして、壁を乗り越えるために相手を信じる力だと伝える作品です。
E-59 渋染一揆を闘いぬいた人々 ＜第5巻＞ 18分（2017年）	小学校 中学年 以上	江戸時代末期の岡山藩では庶民に出した儉約令を徹底するため被差別身分の人々に厳しい御触れを出しました。のちに「渋染一揆」と呼ばれる大規模な抵抗運動を藩内の人々が起こしました。人としての尊厳をかけ、知恵と力を合わせて闘った人々から、いま学ぶべきことは何かを問いかけます。
E-60 日本国憲法と部落差別 ＜第6巻＞ 17分（2017年）	小学校 中学年 以上	第二次世界大戦終結後、どのような経過を経て憲法が制定されたのかを検証します。だれひとりとして「差別されない」と明記された日本国憲法こそが真の「解放令」であり、「差別を黙って見過ごしてはならない」ことを、憲法の意義とともに考えます。
E-61 水平社を立ちあげた人々 ＜第7巻＞ 17分（2020年）	小学校 高学年 以上	日本の人権の歴史を大きく変えた水平社創立の背景や、創立大会の様子、そこに参加した人々の想いを取材し、明らかにしました。自分たちの力で差別をなくそうと立ちあがった人々から学ぶことで、「差別」や「いじめ」を根絶するため、いま何をすべきか問いかけます。
E-62 ひとと皮革（かわ）の歴史 ＜第8巻＞ 19分（2020年）	小学校 高学年 以上	宗教の影響により、動物の命を奪うことを残酷、穢れているという考え方が広まり、部落差別が生まれました。しかし、皮から作られる「ニカワ」は、「ひと」の文化を発展させてきました。このDVDでは、皮革製品を通じ、部落差別の愚かさや「いのち」の大切さを考えさせられます。
E-63 芸能と差別 -文化を生き育てた人々- ＜第9巻＞ 20分（2022年）	一般	このDVDでは現代にも伝わる「門付け芸」や「おわら風の盆」などを取材し、消えかかった芸能を保存・継承してきた方々へインタビューし、いかに芸能が差別を乗り越えて、民衆によって支えられ発展し、現代まで継承されてきたかを学ぶことができます。
E-64 差別のない社会へ -私たちはどう生きるか- ＜第10巻＞ 20分（2022年）	一般	子どもたちが直面したいじめをきっかけに、実際に4人のゲストティーチャーを招き、子どもたちが社会にある様々な差別に気づき、よりよい生き方をめざそうとする姿を描いたドラマです。差別を許さない生き方や、現代社会に残る差別を解決していくために自分は何ができるのかを考えることができる作品です。

F. 外国人の人権

題名	対象	内容
F-15 ホームタウン 54分（2007年）	一般	在日韓国人3世の姿を通して、名前や国籍の違いを認め合い、それぞれの生き方・考え方を大切にして相互に理解し合うことの必要性を学び、すべての人の人権が尊重される豊かな社会の実現について考えていきます。
F-16 外国人労働者問題から多民族共生を考える 32分（2007年）	一般	本作品は従業員の2割が中国人という日本企業の明日の姿を先取りしている大阪の中堅建設会社に密着取材。研修・技能実習制度を利用した人材の育成・確保の実態を紹介し、利潤追求というリアルな現実の中、人権問題といかに真剣に向き合ってきたかを描きます。
F-17 ウェルカム！ 16分（2016年）	一般	外国人と働くには、多様性を尊重し、お互いの文化や習慣を尊重することが必要です。企業の広報担当者を主人公に、異文化の壁を扉としてとらえ、開いていくことを描いた作品です。
F-18 外国人と人権 33分（2015年）	一般	外国人に関する人権問題をドラマや解説で明らかにし、多様性を認め、人が人を大切にする人権尊重の社会をつくりあげるためにできることを考えます。
F-19 同級生は外国人 12分（2017年）	小学校 中学年 以上	小学4年生のクラスに日系ブラジル人のニコラスが転校してきます。サッカーが上手ですぐに仲良くなりますが、クラスメイトと溝ができます。相手のことを理解し、自分と異なる立場や考えを大切にすることの重要性を学びます。
F-20 サラマット ～あなたの言葉で～ 36分（2020年）	一般	珠美はミランダに対し、交流を通じ違いは「壁」ではなく、様々な問題解決の糸口になることを学んでいきます。このDVDでは、新たに迎えた外国人を、共に未来をつくる存在として尊重し、互いに高め合っていく、多文化共生社会の実現を目指します。

G. その他の人権問題

題名	対象	内容
G-4 拉致～許されざる行為～ 21分（2007年）	一般	拉致問題の解決に向け国内外の世論を喚起することを目的として、概要や政府の取組などを紹介し、重要性を国内外に訴えかける内容となっています。日本語編の他8カ国語で収録されています。
G-5 めぐみ 25分（2008年）	アニメ 一般	北朝鮮による日本人拉致問題啓発アニメ。昭和52年、当時中学1年生だった横田めぐみさんが、学校からの帰宅途中に拉致された事件を題材に、残された家族の苦悩や懸命な救出活動の模様を描いたドキュメンタリー・アニメです。
G-6 未来への虹 30分（2005年）	アニメ 小学校 高学年 以上	ハンセン病元患者をモデルにして書かれた本をもとに作られたものです。これからの未来を担う子どもたちに、差別の痛みや苦しみ、ふるさとへの想い、そして「人権」の大切さを語りかけています。
G-7 ある日突然最愛の娘を奪われて 41分（2008年）	一般	犯罪被害によって大切な家族を失った方の喪失感、孤独感、不信感、は計りしれません。あなたも、気づかないうちに誰かを傷つけていませんか？
G-8 ハンセン病 今を生きる 49分（2005年）	一般	ハンセン病は強制的に隔離されたことから間違った考えが広まり、偏見や差別を大きくしたとされています。ハンセン病について正しく理解し、差別や偏見をなくしていくための作品です。
G-9 セクシュアル・マイノリティ理解のため -子どもたちの学校生活とこころを守る- 56分（2009年）	一般	性的少数者の多くが、「自分は、周囲の大人や友だちとは違うようだ」と気づくのは、小学校低学年から思春期です。このDVDには、そんな子どもたちを理解し、支援するためのヒントがつまっています。
G-10 ハンセン病とは？ 30分（2014年）	一般	ハンセン病を正しく理解するために兵庫県が制作した普及啓発DVD。ハンセン病についてわかりやすく解説するとともに、兵庫県出身のハンセン病回復者の方のお話を通じて学ぶことができます。

題名	対象	内容
G-11 アイヌモシリ 25分 (2008年)	一般	アイヌの人たちに対する理解のために北海道が制作した啓発DVD。先住民族であるアイヌの歴史や文化をわかりやすく学ぶことで、差別を受けた過去をのりこえ、新法制定活動をはじめとする様々な取り組みについて紹介しています。
G-12 あなたがあなたらしく生きるために 30分 (2014年) 法	一般	この教材では、性的マイノリティについて正しく理解し、誰もが自分らしく毎日を過ごすため、立場の異なる一人ひとりが何をすべきか、また社会全体がどんな取り組みをすべきかを分かりやすく解説しています。
G-13 ハンセン病問題 76分 (2015年) 法	一般	ハンセン病問題に焦点を当て、分かりやすく簡潔にまとめた「ハンセン病問題～過去からの証言、未来への提言～」(56分)と「家族で考えるハンセン病」(20分)の2つの映像作品から成り立っています。
G-14 誇り - 差別といじめは越えられる - 30分 (2013年)	一般	いまでも福島県は試練の中を生きています。風評被害に振りまわされ、真実を見ない姿は、差別や偏見を生み出す人々の心のしくみを象徴しています。本作品は、福島県の人々が経験した事実をもとに、差別やいじめを考えるものです。
G-15 インターネットと人権 ～加害者にも被害者にもならないために 30分 (2016年) 法	一般	インターネットに関する知識や意識が不十分でない中高生は被害者になるだけでなく、意図せず加害者になることも少なくありません。危険性や、安全な利用法についてわかりやすくまとめています。
G-16 誰もがその人らしく 20分 (2017年)	一般	主人公の周りにいたけれども見えなかった性的少数者の人たちが見えてくるストーリーです。この作品はドラマと振り返り解説の形で構成されています。
G-17 パパは女子高生だった！ 28分 (2019年)	一般	前田良さんは、性的少数者の苦悩を乗り越え、最愛のパートナーと出会い、AID（非配偶者間人工授精）により二人の子どもを授かるが、出生届が受理されず、裁判を起こす。現在は多様な性について「間違った知識ではなく、本当のことを伝え知ってもらおう」ため、全国を走り回っている。
G-18 みんなで考えるLGBTs①-好きになる性- 15分 (2004年)	一般	異性を好きになるか、同性・両性を好きになるか、誰にも恋愛感情を抱かないといった性的指向は、嗜好や志向とは異なる「指向」で、本人が選択できないと考えられています。同性愛者の生徒たちに焦点をあて、性的指向について考える映像教材です。
G-19 みんなで考えるLGBTs②-心の性・表現する性- 20分 (2019年)	一般	体の性と心の性が異なるトランスジェンダー、男でも女でもない自認するXジェンダー、自身の性自認に揺れ動くクエスチョニング…。自分が何者であるのかという戸惑いや揺らぎを経験する生徒たちの物語を見て、心の性や表現する性について考えます。
G-20 みんなで考えるLGBTs③-性的指向と性自認- (解説編) 20分 (2019年)	一般	性の多様性について、学齢期の早い段階での教育を待ち望まれているながら、教員自身の正確な知識や理解が追い付いていないという現状があります。本巻では、性の多様性を解説し、LGBTsを取り巻く社会の動きなども紹介し、その理解を深めます。
G-21 LGBTsの子どもの命を守る学校の取組① 38分 (2020年)	一般	性の多様性について社会の関心が高まっています。性の多様性を人間の個性の一つとして学ぶ機会ととらえ、LGBTsの当事者である児童生徒が、ありのままの自分でいいという自己肯定感、自尊感情を育むことをめざした映像教材です。
G-22 LGBTsの子どもの命を守る学校の取組② 38分 (2020年)	一般	クラスに1～2人程度は存在するであろうLGBTsの生徒をいじめや自傷行為等から守るため、教員が危機管理について現状を正しく理解し、また授業で取り上げたり当事者に接したりする際に適切な対応ができるように事例を紹介しています。
G-23 LGBTsと社会② 家族 - 自分の子どもの命を守る学校が当事者だったら - 25分 (2022年)	一般	家族だからこそ本当のことが言えず苦しんでいるLGBTs当事者は数多くいます。本作では、ゲイである息子を追い詰めてしまう親の様子、親子が葛藤しながら関係を再構築する様子が描かれています。

題名	対象	内容
G-24 パースディ 性の多様性を認め合う ～誰もが自分らしく生きられる社会をめざして～ 37分（2022年）	一般	性的少数者の苦悩や生きづらさを描く一方で性的少数者であることを打ち明けられた家族等の偏見や知識不足による混乱や抵抗感が描かれています。この作品をきっかけに互いの人権を尊重し、全ての人々が自分らしく生きられる社会をめざした作品です。

H. 企業研修用

題名	対象	内容
H-11 職場の人権 27分（2008年）	一般	社員相談室の佐藤が“相手の気持ち”を考えるとどうということなのかを理解していく過程を描いています。職場で身近に起こり得るパワハラやセクハラ、コミュニケーション不足が原因のトラブルなど、意識のズレと問題点を提示していきます。
H-12 気づこう！職場の セクシュアル・ハラスメント 20分（2007年）	一般	性別や雇用形態を問わず、誰もがセクハラに加害者にも被害者にもなり得る中で、どのような言動がセクハラになるのかを、状況別に解説しています。
H-13 管理者がセクハラ加害者にならないために 20分（2007年）	一般	日常の何気ない言動が部下へのセクハラになることがあります。上司がセクハラに加害者となるケースを価値観によるタイプ別に解説しています。
H-14 セクハラ対策と管理職の役割 21分（2007年）	一般	もしセクハラ「加害者」と「被害者」が自分の部下だった場合、管理職はどうすれば良いのでしょうか。対応方法や相談の受け方をわかりやすく解説しています。
H-15 ストップ！職場のセクシュアル ハラスメント 26分（1998年）	一般	職場のセクシュアルハラスメントを防止し、男性も女性もいきいきと働ける職場にするために管理職としてどのような点に留意し、取り組んでいけばよいのかを考えます。
H-16 パワーハラスメントのない職場を めざして 20分（2009年）	一般	「パワーハラスメントとは何か」、「未然に防ぐために、管理者としてどのような認識が必要か」など複数の事例を紹介しています。従業員が生き生きと働ける職場づくりについて解説した作品です。
H-17 セクシュアル・ハラスメント 45分（2009年）	一般	これはセクハラ？それともコミュニケーション？をドラマとポイント解説したディスカッション教材。で収録しています。「こんな場合、あなたならどうする？」と討議するための教材です。
H-18 パワー・ハラスメント 45分（2009年）	一般	ディスカッション教材。「私はこんなことはしない！」と思い込んでいる人が、実際はしてしまう笑えない話も少なくありません。ドラマをもとに参加者で討議することで理解を深める教材です。
H-19 職場で起こる各種ハラスメント 対策の基礎知識 50分（2009年）	一般	職場で起こる各種ハラスメントの必須基礎知識をわかりやすく解説しています。従業員のコミュニケーションギャップを埋めていくための、総合ハラスメント対策教材です。
H-20 今、地域社会と職場の人権は！ 36分（2012年）	一般	4部構成のミニドラマを通じて、高齢者問題、パワハラ・セクハラ、同和問題など、日常の地域・職場の中に潜んでいる様々な人権問題について一緒に考える作品です。
H-21 職場の日常から考える パワーハラスメント 28分（2012年）	一般	暴力や暴言といった従来型のパワハラではなく、線引きが難しい様々な問題を描いており、グループ討議で活用しやすい実践的教材です。
H-22 パワーハラスメントに ならない指導のポイント 23分（2012年）	一般	管理職と部下がそれぞれの立場で語るドラマを通して「パワハラにならない指導法」や「良好なコミュニケーションのために必要なこと」等を分かりやすく解説。明日から活かせるヒントが得られる実践的なDVDです。
H-23 ハラスメントの視点から 23分（2013年）	一般	自他尊重のコミュニケーションと職場の人権Ⅰ。職場の身近なコミュニケーション不全がハラスメントの問題につながっていくことをドラマ形式でわかりやすく伝えています。テーマ：①上司・部下 ②女性・男性

題名	対象	内容
H-24 相手の立場で考える 23分 (2013年)	一般	自他尊重のコミュニケーションと職場の人権2。ドラマの中では、お互い悪意はないのにコミュニケーション不全から職場環境が悪化します。テーマ：①好意が重すぎるう！②理系って冷たい？③年上の部下、年下の上司④ワーク・ライフ・バランス
H-25 なぜ企業に人権啓発が必要なのか 22分 (2014年)	一般	企業にとっての人権啓発とは？頭では、差別や偏見なく、人権に配慮して行動しなければいけないとわかっていても実際に、日々の業務の中で、何ができるのでしょうか。そのヒントを、企業を舞台にわかりやすいドラマ仕立てで構成しています。
H-26 新・人権入門 25分 (2014年)	一般	企業の人事担当者から取材した、実際の出来事を16のショートドラマとして構成。どんな人権課題が含まれているのか、もしくはいないのか、自分がその場にいたら…視聴者と出演者が一緒に学びべる作品です。
H-27 企業活動に人権的視点を 103分 (2015年)	一般	企業活動にCSR（企業の社会的責任）や人権的視点を取り入れている組織の経営者や関係の皆様へのインタビュー、実際の取組の様子、従業員や地域の人々の声などを紹介する作品です。
H-28 選考基準 24分 (2008年)	一般	人材を採用するときは、応募者の基本的人権に配慮し公正な採用選考を心がけることが大切です。企業サイドと応募者の両面から採用選考の場面を描き、企業にとっても幸せな採用選考のあり方を考える作品です。
H-29 出産・育児への理解がない 26分 (2015年)	一般	「マタニティ・ハラスメント」女性に対するハラスメントのため、泣き寝入りが多いのが現実です。本作品は、マタハラに関する知識を深め、周囲に理解と解決策を示していく内容です。
H-30 公正な採用選考 26分 (2013年)	一般	職場でありがちな採用選考に関わる事例を短くとりあげ、その事例から考えるべき公正採用選考の基本的な考え方を学びます。悩める3人の採用担当者が、学び、語り合うスタイルで、分かりやすく公正な採用選考を読み解く作品です。
H-31 コール&レスポンス 24分 (2017年)	一般	ハラスメントを防ぐことは人権尊重の上で重要な課題です。そのためには十分なコミュニケーションを取ると同時に、思いを聞いてみるのが大切です。この作品はドラマと振り返り解説で構成されています。
H-32 企業と人権 - 職場からつくる人権尊重社会 - 40分 (2017年)	一般	企業がなぜ人権に取り組む必要があるのか、企業がかかわる主な人権課題にはどのようなものがあるのか等について、対処のポイントや先進事例を含め、分かりやすく解説しています。
H-33 ハラスメント・しない、させないための 双方向コミュニケーション 26分 (2019年)	一般	企業にとってハラスメントの防止は大きな課題となっています。一人ひとり感じ方が違うという事を理解し、双方向のコミュニケーションをとることが重要です。ハラスメントのない、新しいコミュニケーションの形を提案します。
H-34 「違い」を「力」にするために 26分 (2020年)	一般	職場では、グローバル化と少子高齢化が進んだことで、より多様な人材が活躍しています。お互いの「違い」を理解するという段階から「違い」を「力」ととらえ、新しい価値に転換するために、必要なコミュニケーションのあり方について考える作品です。
H-35 よかったら“想い”を聴かせて ～自分も相手も大切にするために～ 29分 (2022年)	一般	「ハラスメント」をはじめ職場における6つの人権課題を切り口に、「相手の想いを聴く・自分の想いを伝える・お互いに受け止める」の大切さを登場人物たちと共に考えます。職場の誰ひとり取り残さないために必要なコミュニケーションについて学ぶ作品です。

I. 人権問題全般

題名	対象	内容
I-2 クレヨンの星 14分 (1997年)	アニメ 幼児以上	人権啓発絵本「クレヨンの星」を映画化したもので、大人と子どもと一緒に見て話し合うきっかけとなる作品です。
I-39 郡上一揆 112分 (2000年)	一般	この作品は、悪政に憤り、自ら招いた財政難を民にためらいもなく押しつける冷酷さに、やむを得ず決起した郡上農民の熱い心情と執念の闘いぶりを描いた作品です。郡上一揆を背景に、農民たちの命をかけた戦いを描いた群像史劇です。
I-50 夕映えのみち 38分 (2006年)	一般	もし、わが子がインターネットを使って人権侵害したら…逆にわが子が被害者になり『いじめ』にあったら、あるいは学校や地域で同じ事件が起きたなら…。「あなたなら、どうしますか?」と、問いかける作品です。
I-54 え! これも人権? 30分 (2007年)	一般	この作品は、日常生活の出来事などを例に、「なるほどこれも人権問題なんだ」と気づく4コマ漫画と実写でわかりやすく構成されています。
I-55 こころに咲く花 35分 (2007年)	兵 一般	この作品は、職場でのいじめ(パワハラ)を中心に、身近に存在するいじめ問題に焦点をあて、傍観者たちが勇気を出して正義の声を発すれば、必ずいじめの解決につながることを訴えています。
I-56 ねずみくんのきもち 12分 (2008年)	アニメ 幼児以上	ねずみくんの絵本シリーズを映像化。いじめやコンプレックス、自然とのつながりなどの大切なテーマを通して、ねずみくんと一緒に一人ひとりが大切な存在であるということに気づき、共に生きていることを感じられる作品です。
I-57 親愛なる、あなたへ 37分 (2008年)	兵 一般	一人ひとりの『気づき』こそが、互いに支え合う力が低下した地域の『再生』につながります。無関心、無理解という冷たい壁を破って、温かい見守りと相互支援の大切さについて考えます。
I-59 妻のブログ 27分 (2008年)	一般	健康、お金、生きがいを準備しつつ定年退職を迎えることは、自分のみならず、家族のためでもあります。50歳代からのライフプランを考えましょう。
I-60 日常の人権 I 23分 (2009年)	一般	日常生活に潜む様々な人権問題を取り上げています。女性の人権、子どもの人権、高齢者の人権等々、人権について、様々な角度から考えることができる作品です。
I-61 日常の人権 II 23分 (2009年)	一般	日常生活に潜む様々な人権問題を取り上げています。外国人の人権、障がい者の人権、部落差別、インターネットでの人権侵害等々人権について、様々な角度から考えることができる作品です。
I-62 あの空の向こうに 38分 (2009年)	兵 一般	インターネット等の利用において、人権意識・人権感覚の重要性や人と人とのふれ合い・語り合いの大切さを訴え、こころ豊かなコミュニケーション社会をめざした作品です。
I-63 人権のヒント 地域編 25分 (2010年)	一般	街の喫茶店での交流の中から、それぞれの違いを思いやる心の大切さを理解していく内容です。
I-64 人権のヒント 職場編 22分 (2010年)	一般	ごく普通の会社員の日常を描きながら、日頃は気づかない職場の中で私たちが考えるべき人権問題について提起している内容です。
I-65 響け大地に、人の心に 41分 (2008年)	一般	この作品は、ドラマ編30分、解説編11分の2部構成です。小学生とその家族、日本で働く外国人の日常生活を通して、偏見をなくすための「行動」や「きずな」を深めていきます。私たち一人ひとりに何が求められているのかを考える作品です。
I-66 とべないホタル 17分 (1990年)	アニメ 一般	羽が縮んで生まれたために、飛べないホタル。足の不自由な妹のために、ホタルを取りにきた姉と妹。ホタルと子どもたちとのふれあいを通して、優しさと思いやりの大切さを描いた作品です。
I-67 インターネットと人権 22分 (2010年)	一般	インターネットに関して起こっている幾つかの実際の人権侵害を取材し、事件の背景やインターネットの特性について考えてます。そして、情報化社会の中で人権と向き合うために私たちがどうすべきかを考える作品です。

題名	対象	内容
I-68 クリームパン 36分(2010年)	一般 兵	子どもへの虐待や若者の自死など社会問題になっている事件を通して、社会や地域の中で孤立している人々に対する正しい理解を訴え、いま一度「いのち」について自分の問題として考えてもらう作品です。
I-69 桃香の自由帳 36分(2012年)	一般 兵	クラスメートと仲良くしたいと思う小学校2年生の桃香と人付き合いを制限しようとする母親との関係を軸に「人と人の絆」の大切さ、共に生きる温かい地域について考える作品です。
I-70 ほんとの空 36分(2012年)	一般 兵	誰もが他者の排除や差別がよくないことは理解していますが、自分に関わる出来事以外は他人事のように感じます。この作品は自分のもつ意識について振り返るきっかけになります。
I-71 あなたの偏見、私の差別 -人権に気づく旅- 30分(2012年)	一般	第1章「暴力・デートDV・ジェンダー」第2章「自死をめぐる」第3章「ホームレス問題」第4章「ハンセン病」。人権問題に興味をもつ若者4人の議論を通して、自ら考えていく作品です。
I-72 ヒーロー 34分(2014年)	一般 兵	近年、血縁や地縁、社縁の希薄化による「無縁社会」と呼ばれる社会状況があります。地域で起こる身近な人権問題に対し、傍観者でなく、主体的に行動することで、新たな地域のつながりを結んでいく大切さを実感してもらうドラマです。
I-73 虹のきずな 31分(2012年)	アニメ 一般	情報不足や誤った情報、あるいはそれに基づく不正確な知識や思い込みは、様々な人権問題を引き起こす原因のひとつと言えます。この映画では、いじめ、少数者排除など、差別につながる「傍観者」あるいは「無関心」という立場に焦点を当てています。
I-74 生まれ来る子へ 25分(2013年)	一般	祖父母と孫夫婦の会話を通して、私たちの身の回りにある人権問題をクローズアップしています。家庭の中で、人権の尊さについて語り合うことは、すべての「いのち」を大切にすることです。気づき、行動することの大切さについて考える作品です。
I-75 あなたに伝えたいこと 36分(2015年)	一般 兵	インターネット時代の同和問題について取り上げた作品です。同和問題は決して他人事ではなく、正しく知ることが解決につながります。また、インターネットの危険性にどう向き合っていけばいいかを問い直す作品です。
I-76 秋桜(コスモス)の咲く日 34分(2013年)	一般	「目に見えにくい違い」の一つ、発達障がい。発達障がいのある人の生きづらさや痛みを真摯に伝えるとともに、「違い」が生み出すプラスのエネルギーを美しく群生するコスモスの花々と重ね、「ともに生きることの喜び」を伝えます。
I-77 地域で減災! 24分(2008年)	一般	「減災」の基盤となるのが「自助」と「共助」。まず町を知り、住民同士が顔の見える関係を作る。そうして築いた人のつながりが、災害に立ち向かう大きな力になります。
I-78 イメージネーション 34分(2014年)	中学生以上 文	小さなラジオ局を舞台に、①子どもの人権-いじめの問題-いじめをなくすのはアナタ②同和問題「関わらないのが一番」それ本当?③障がい者の人権-発達障がい-見えにくいから知ってほしい発達障がいのことの3つのテーマで構成された作品です。
I-79 カラフル 31分(2014年)	一般	両親と巣立ちの時を迎えた子どもたちの会話を通じ、①他人の噂(誰もが知らず知らずの内に)②子どもの就職(名刺に格付け?)③子どもの結婚(親の理想と価値観)④LGBT(普通という思いこみ)⑤多様性を認めるカラフルな社会への人権課題をとりあげています。
I-80 探梅 春、遠からじ 40分(2010年)	アニメ 一般	内向的な主人公が夫の故郷へ引っ越したことにより始まる物語。人権課題の多くは、人を排除する意識から生まれ、人が孤立することで深刻化していきます。しかし「困ったときはお互い様」。その気持ちで人を温かく結び付け、助け合う社会へと導きます。
I-81 未来を拓く5つの扉 46分(2015年)	アニメ 一般	絵とアニメーションで見る全国中学生人権作文コンテスト入賞作品5点の朗読集。次代を担う中学生が、身の周りで起きたいろいろな出来事や自分の体験など、人権について考えています。

題名	対象	内容
I-82 その人権問題わたしならどうする？ 29分（2015年）	一般	人権の知識があっても、複雑な人間関係が絡み合い、自分が正しいと考える方を選択することが困難場合があります。さまざまな人権問題を通して、もしも登場人物の立場になったら自分はどの行動するかを考える作品です。
I-83 光射す空へ アニメ 32分（2015年）	一般	大学生たちの悩みと学びを通し「正しい知識と理解」「多様性の受容と尊重」の大切さを描いています。登場人物たちとともに、誰もが人権を尊重され自分らしく生きていける社会について考える作品です。
I-84 わっかカフェへようこそ 35分（2016年）	一般	インターネットによる人権侵害をテーマにした「三色団子の向こう側」、高齢者の人権をテーマにした「世代をつなぐ柏餅」、外国人の人権をテーマにした「コンペイトウの来た道」からなる三編の物語です。
I-85 ワークショップをやってみよう 35分（2016年）	一般	参加・体験型であるワークショップは参加者自身が自分と向き合い、自発的に考え、思い、気づくことにつながります。実施例を示した内容となっています。
I-86 わたしたちが伝えたい、大切なこと アニメ 31分（2017年）	小学校 中学年 以上	全国中学生人権作文コンテスト入賞作品、「差別のない世界へ」「手伝えることはありますか」「共に生きるということ」の3本収録した作品です。日常生活の中で「人権」について理解を深めていったプロセスを描いています。
I-87 すべての人々の幸せを願って 35分（2015年）	中学生 以上	世界人権宣言及び国際人権諸条約が自分たちの身近にある人権課題とどのように関わっているかを紹介します。「国連の人権への取り組み」「女性の人権」「子どもの人権」「障がいのある人の人権」「外国人の人権」など。
I-88 カンパニュラの夢 兵 36分（2020年）	一般	ひきこもりが長期化し、親子が高齢化する8050問題を主題にし、ひきこもりは誰にでも起こることで、偏見をなくし、互いに助け合うことで地域共生社会の実現をめざす人権啓発ドラマです。
I-89 話せてよかった 27分（2020年）	一般	性別役割分担意識や隣人への偏見、親の介護への認識など、日常の思い込みによって生じる問題と向き合う作品です。自分の中にある思い込みに気づき、自分も相手も尊重する人間関係を築くために役立つ人権啓発ドラマです。
I-90 夕焼け 兵 35分（2021年）	一般	主人公は、家事と幼い弟の世話に追われ、家族のことは家族であるのが当たり前と思いこんでいる中学二年生のヤングケアラーです。人と人とのつながりが、ケアラーと家族が抱える問題解決の糸口になる作品です。
I-91 君が笑っていた 23分（2021年）	一般	コロナ感染拡大は、感染者や医療従事者、社会的に弱い立場にある人々への誹謗中傷や差別を生み出しました。医療従事者の家族が会社や学校、地域から差別を受ける内容のドラマで、差別やいじめのない社会とは何かを語り合う作品です。
I-92 私たち一人ひとりができること 26分（2021年）	一般	コロナ感染症が長期化する中、危機意識が薄れていた主人公。娘の同級生の一家がコロナに感染したことで、「コロナ差別」の当事者になるというドラマです。差別や偏見がなぜ生まれるか、どう向き合えばよいのかを学べる作品です。
I-93 シェアしてみたらわかったこと 46分（2019年）	一般	東京のシェアハウスを舞台に、外国人、高齢者、トランスジェンダー女性、発達障がい者など、個性豊かな住人が集まって暮らしています。年齢も社会的立場も異なる人たちの共同生活の中での気づきを描きます。
I-94 大切なひと 兵 34分（2023年）	一般	インターネットは利便性が高く、SNSなどで自由に意思表示することができるのが特徴です。一方で部落差別や外国人差別といった偏見や差別を助長するような情報を発信する可能性があります。表現の自由を逸脱した行為について考える作品です。
I-95 言葉があるから… 31分（2023年）	一般	あからさまな差別表現でなくても、無自覚に相手の尊厳を傷つけている言動のことをさす「マイクロアグレッション（小さな攻撃性）」。その言動の背景には、特定の属性の人たちへ偏見が隠れています。自覚なき加害者にならないために、ありのままにその人と向き合う事の大切さを学ぶことができる作品です。

J. 平和啓発

題名	対象	内容
J-1 しんちゃんのおさんりんしゃ アニメ 24分 (2011年)	幼児 以上	被爆50周年映画。戦争で食べる物もない時代、三輪車はこどもにとっては宝物でした。8月6日、しんちゃんはいの仲良しのきみちゃんと一緒におじさんにもらった三輪車であそびに出かけましたが…。
J-3 つるにのって アニメ 27分 (1993年)	小学校 高学年 以上	「とも子の冒険」小学6年生のとも子は、夏休みに原爆資料館を訪れます。不思議な少女との出会いから冒険が始まります。未来の大人たちに核兵器や放射線の恐ろしさと、平和づくりへ自ら参加することの大切さを訴えた作品です。
J-4 はとよひろしまの空を アニメ 21分 (1999年)	小学生	かわいがってくれた飼い主の少年とその家族を原爆で亡くし、焼け野原となった町を必死で生き抜こうとした小鳩の姿を通して、命とは、平和とは何かを問いかけた作品です。
J-5 忘れてはならない夏がある 74分 (2014年)	一般	広島、長崎で被爆し、現在は尼崎市で暮らす原子爆弾被爆者の体験を映像作品化したDVD。被爆者の証言を中心にした本編33分と、小学校等で語り部活動を行う際に用いる紙芝居3篇 (各12~15分) です。
J-6 学ぼうヒロシマ 76分 (2014年)	一般	被爆地広島に拠点を置く中国新聞社が作成した平和学習のDVD。被爆者3人の証言や、平和をテーマに取材・活動しているジュニアライターの活動紹介などを収録しています。
J-7 ヒロシマ原爆被爆 30分 (2013年)	一般	一瞬のうちに14万人もの命を奪った広島への原爆投下。この悲惨な出来事を風化させないために、加東市在住で被爆体験者に「あの日あの時、一体何が起こったのか」を語っていただきました。
J-8 七夕の願い 14分 (2015年)	一般	明石に住む高校生のゆうきと明子。ある日、登校中に会ったおばあさんから明石に空襲があったことを聞き、学校帰りに明石公園にある「明石空襲の碑」を見に行きます。そして、自分の家族やまちの過去を知ること。
J-9 いわたくんちのおばあちゃん アニメ 20分 (2009年)	小学生 以上	昭和20年8月の広島で起こった実際のお話をもとになっています。主人公、寛太は現代の小学生です。寛太は、友だちのおばあちゃんの話や戦争のことを自分の問題としてとらえ、平和への決意をしていきます。
J-10 ちいちゃんのかげおくり 17分 (2001年)	小学生 以上	「かげおくり」という遊びをちいちゃんに教えてくれたお父さんも出征して行ってしまいました。初夏の夜の空襲でちいちゃんはお母さんとはぐれて一人ぼっちになってしまい…戦争の悲惨さについて考える作品です。
J-11 涙に浮かぶ記憶 28分 (2017年)	中学生 以上	全国中学生人権作文コンテスト法務大臣賞「戦争を次世代へ伝えて」を脚色・映像化したものです。「なぜ日本は戦争を止められなかったのか」その疑問を中学3年生の女の子が、戦争体験者の曾祖父から聞き出しながら戦争への拡大の足跡を資料映像で辿っていきます。